

# すみきしゃ 角記者が行く！



令和2年8月15日

ケアヴィラ宝塚広報委員会では昨年、働いているスタッフと広報委員会メンバーが対談し、仕事に対する思いや心構え、またプライベートなどの素顔に迫る対談企画を始めました。第2回目となる対談のお相手は、河田 広子（かわた ひろこ）介護部長です。インタビュアーは前回に引き続き広報委員会委員長の角（すみ）が担当しました。今回はどんなお話が繰り広げられたのでしょうか。ぜひご一読下さい！



河田 広子（かわた ひろこ）  
昭和 55 年 3 月 西宮市医師会准看護学校卒。  
昭和 62 年 3 月 国立福知山病院附属看護学校卒。  
昭和 55 年 4 月～第一病院（現宝塚第一病院）にて勤務。  
平成 26 年 4 月～ケアヴィラ宝塚介護部長着任。

介護部長：病院は治療が目的で、医師や看護師主体となり多くの専門職が働いています。老健は主にリハビリをして在宅復帰を目指すのが大きな目的となっています。日常生活もリハビリの一部と考えると、老健はリハビリを担当する療法士とケアスタッフが中心となり、その間を其他専門職が固めていくという形になります。

角：業務内容の違いはありますか。

介護部長：病院では、急性期病院の看護師の1人として様々な医療現場を経験してきました。先生や他の専門職の方に教わったり、自らも勉強をして、キャリアを積んできました。ケアヴィラ宝塚には、介護部長としてきましたので、管理・指導的な役割になります。ケアスタッフの中には、医療・介護の経験がない人もいます。中心となるケアスタッフが、働きやすく、また長く働ける環境を整えることが大切と感じています。

角：僕も全く知識のないところからこの世界に飛び込んで、もう7年がたちました。

介護部長：私より1年早いですがもんね。先輩！

角：（笑）今後共にご指導お願いします！！



photo

左下：ケアヴィラ宝塚庭園七福神の前にて  
右上： " プランターと並んで



## 病院と老健施設の違い

角記者（以下、角）：本日は広報委員会の取材に承じていただき、ありがとうございます。前回の兵庫谷施設長に続き、今回で2回目となります。広報委員会の目玉企画（笑）、今回は河田介護部長にお話を聞かせていただきます。

河田介護部長（以下、介護部長）：はい。よろしく申し上げます。

角：介護部長は長きにわたって尚和会に勤務されています。宝塚第一病院で34年、ケアヴィラ宝塚には平成26年に介護部長として着任され、今年で7年目になります。様々なご経験を積まれていると思いますが、病院と介護老人保健施設（以下、老健）の違いをお聞かせいただけますか。



## どんな学生時代だった？

角：次に、介護部長のルーツといいますが、学生時代に熱中していたことはありますか。

介護部長：中学の時に体操クラブに入っていて、高校は帰宅部でした。母を早くに亡くして、4人兄妹の一番上でしたので、どちらかというと、炊事・洗濯など家事をこなすのが日常になっていました。でもあまり苦にはならなかったです。残念ながら学生時代に何かに熱中して、発散したという記憶はないですね。

角：僕なんかずっとクラブ漬けでしたね。今はラグビーですが、もともとは野球部で甲子園目指してましたから。

介護部長：うん、そうですね。あとは、友達に頼まれて代わりにアルバイトに行ったりもしました。

角：そのころから、お世話好きな一面があったんですね。看護師という職業に通じるものがあるような気がします。



## 看護師という仕事

角：お誕生日が5月12日とお聞きしました。5月12日といえば、ナイチンゲールと同じ誕生日（今年は生誕200年）で、また看護の日でもあります。まさに天職といったところでしょうか。

介護部長が、看護師を目指されたきっかけとは何ですか。

介護部長：私でもなにか人の役にたてたらと思ったのと、手に職をつけたいと思っていました。それと、看護師はまず准看護師からはいったのですが、働きながら資格がとれることも魅力でした。叔母のすすめもあって目指しましたが、これまで長く続けられているので、性に合っていたのかなと思っています。

角：看護師をされていて、喜びややりがいを感じる時はどういう時ですか。

介護部長：患者様やゲスト様から喜んでもらえたり、感謝の言葉をいただいたりする時に、よかったなあと思います。こちらに来てからも、今まで積み重ねてきたことが決して無駄ではなかったなとつくづく感じています。



## プライベートあれこれ

角：休日とはどのように過ごされていますか？

介護部長：家の掃除や洗濯、部屋の模様替えもよくします。今はコロナ禍で行っていませんが、日帰り湯、プチ旅行に出かけ、食べ物や風景などで四季を感じられるように心がけています。

角：おすすめの旅行先や、特に印象に残っている場所を教えてください。

介護部長：私が今まで見た中で紅葉がとてもきれいだったのが弘前城の真っ赤なモミジです。季節がちょうどよかったので感動しました。同じくらい印象に残っているのは、八甲田山です。ロープウェイで登り、山頂公園をトレッキングしたのですが、空気の清々しさと鮮やかな紅葉はとても思い出深いです。淀川公園背割堤、奥琵琶湖パークウェイの桜も見ごたえがあり、日本に生まれてよかったなと感じます。

角：全国津々浦々、とても行動派ですね！これから行ってみたい場所は？

介護部長：富士山や屋久島岳にも体力があれば登ってみたいし、海外旅行にも行ってみたいですね。



## 介護部長の思い、今後の抱負

角：今年は新型コロナウイルスが猛威を振るい、あらゆる面に影響を及ぼしています。ご家族様へ向けてのメッセージをお願いいたします。

介護部長：コロナ禍でご家族の皆様には、大変なご心配とご迷惑をおかけしております。外部からの感染リスク、また、職員からの感染を避けるため、体調管理や環境整備等に職員一同日々取り組んでおります。現在、直接対面での面会がかなわず心苦しいのですが、タブレット面会を利用いただき、落ち着くまでの間、もうしばらくのご辛抱とご協力をお願いいたします。ご心配な点や、ご相談事がございましたら、お電話でお問い合わせください。

角：最後に、今後のケアヴィラ宝塚の在り方、目指すものについてお聞かせください。

介護部長：ケアヴィラ宝塚は病院からの紹介、地域包括からの紹介がありますが、信頼が一番と感じています。ハード面では特徴的なユニットケアを活かし、また、人との関係性を築き介護の質を高めるようソフト面の充実も大切と感じます。“きれいで明るく元気があって居心地がいい”と感じてもらえるよう他職種が協力し、ゲスト様の個々の状態に応じた個性のある介護を展開していけるよう努めていきたい思います。（取材日：令和2年7月28日）



## ゲスト様との交流

角：介護部長は、フロアでよくゲスト様とかかわりあいをもっていらっしゃいますね。

介護部長：ゲスト様のお話相手や娯楽のお相手をさせてもらっています。女性はお花や折り紙と一緒に楽しめます。男性は、囲碁や将棋、マーシャンが大好きです。覚えておけばもっと深いお話ができてよかったなと思います。

角：マーシャンは意外と簡単ですよ。

介護部長：脳トレにもいいらしいですね。あとは、山登りやトレッキングをするので、おみやげ話をしたり、お返しに思い出話を聞いたりもします。

角：これまでに登った山は？

介護部長：六甲山、大山、金剛山、乗鞍、立山、穂高、磐梯山などです。

### Photo

ケアヴィラ宝塚エントランスホールにて



～対談を終えて～



3階ケアスタッフ

角 和正 (すみ かずまさ)

学生時代から勉学と家事を両立され、尚和会でもお仕事に邁進されつつ、休日にはしっかりリフレッシュされています。介護部長のひらめきや発想力はこういうアグレッシブさからくるのだとつくづく感じました。色々なお話ができてとても楽しい時間でした。